

Coffee Break



★佐藤廉さんが「神戸市文化活動功労賞」を受賞

若木屋美術店元町画廊の佐藤廉さん(71)の長年に渡る新人発掘、育成の功績に対し受賞が決まり、「93神戸文化のつどい」(9/28神戸文化ホール)で、他受賞者と共に贈呈が行なわれた。



佐藤 廉さん

「具象人間五人展」(中西勝、西村功、故・鴨居玲、河野通紀、松本宏、現代作家の「7/7/7展」)(元永定正、白髪一雄、河口龍夫、植松奎二、丸本耕、山口牧生、斎藤智)等の企画展の開催などを通して、数多くの作家を育ててきた。「作品は人間性の表現。私はずっと、作家を後ろから見続けてきました」と語る。佐藤さんの所が作家、美術好きの人達の集まり過ぎた場となってきた。県、市の美術品評価委員も長年務め、又ヨーロッパや韓国など、諸外国作品の紹介も多く手掛けてきた。音楽、舞踊等の

若手の支援も続けるなど、活躍の場は実に幅広い。

★作陶50周年

市野弘之作品集出版

丹波焼の世界的な作家、市野弘之さん(70)が、古稀を迎え作陶50周年の作品集「陶」を、神戸新聞出版センター(2万円)から出版。



市野 弘之さん

10月10日、ホテルニューオータニにおいて出版記念会を開いた。

市野さんは作品集の中で「土と火と己の魂を燃やしつつ、仕事一途に明日の自分を求めつづける日々の中に、古稀となり半世紀を迎えることになった。

日本の民芸運動の始祖「柳宗悦」先生との出会いが私の進むべき道を決め、800年の歴史を持つ丹波焼の窯元に生をうけたお蔭で、丹波焼の美を発掘し、こよなく丹波焼を愛された柳先生や、色々な人との出会いが心の励みとなり、教えられる一つ一途に打ち込んだ50年だった。21世紀へ向って確かな歩み続ける丹波焼の一翼を担って、更に精進を重ねてゆきたい」と河井寛次郎、浜田庄司ら先輩達の「民芸の魂を学べ、真似をせず、自分のものを創り出せ」と青年弘之を励ました言葉が光る。

★権柄佑女史の偉業をたたえて

「年を取ってだんだん若く美しくなるのが不思議」と会場中があきれる程、在日本韓国婦人会中央本部会長の権柄佑女史のチョゴリ姿は麗しく、退任慰労のパーティー(七月二十七日、神戸オリエンタルホテル)に約400人が集った。

当夜は、権女史の会長時代の功績をたたえて退任を惜しむ韓国本国からの政・財界の人物や、兵庫県副知事、神戸市長代理など日韓両国の方々の感謝状やスピーチがよせられた。



権 柄 佑女史

兵庫県日韓親善協会も、韓日親善協会ソウル特別市聯合会との姉妹提携結縁の縁結び役を務められるなどの貢献に対し上田将雄会長から感謝状と記念品を贈られた。「在日韓国婦人会中央本部会長の役を無事に終えて大変嬉しい。これも皆様のご支援のおかげです」と。孫のヴァイオリン演奏に眼を細める姿は優しい。

★JIA(社)新日本建築家協会9月16/18日大会開かれる

9月16/18日の3日間神戸国際会議場を主会場として開催された。今大会のテーマは「伝統と現代建築」。歴史都市京都・奈良を控え、

そして現代的都市経営が最も進んでいるとされる神戸を開催地を選び、新ためて日本の伝統と現代建築の関わり合いについて考えようとの主旨で、種々のプログラムが展開された。



出江 寛さん

「残念ながら、現代建築は、歴史的にみても決して成功しているとは言いがた、それが昨今の私達建築家の切実な苛立ちと悩みでもある」と、大会実行委員長の出江寛さん。

「神戸も含め、現代の都市づくりに経済性、合理性が前に出すぎではないか。美しさや潤い、伝統の持つ情緒性に富み、例えば、画家が描いてみたいと思う様なまじりになっていくだろうか。

神戸はハイカラさを背景に持った、近畿一円でも異色の存在。新しい都市づくりにもその魅力、また古いものにも変にとらわれることのないといった個性をうまく生かし、そして、伝統から来る情緒を大切に展開をさせてほしいと思います。

そして「伝統」が21世紀のキーワードとなるのではないだろうか」と語る。★日本の心をクラシックで10月30日、神戸文化ホールで2年ぶりのソプラノリサイタルを行なう水澤節子

さん。そのプログラムには民謡や子守歌などが、日本の曲と外国の曲が半々で並んでいる。「若い頃はオペラやアリアでイタリア歌曲などを歌っていました。けれどこの世の中にある膨大な数の音楽の中で、私が出会いは、歌うことのできるものはほんの一握りだけあります。それなら一体私が歌うべき曲は、表現すべきものは何なのだろうと考えました。」その頃出会ったのが一人オペラの「信田妻（しのだつま）」狐の恩返しといったストーリーを能の立ち居振る舞いを基本とした演出で歌い、演じた。「これだと思いましたね。それがきっかけで日本人の心の機微を歌い、肌で感じて共感できるオペラを創っていきたいと思うようになりました。」

今回のリサイタルの見どころは三木稔の「相聞（そうもん）Ⅲ」後に壬申の乱の原因の一つとなる額田王、天智天皇、大海人皇子の間に取引交わされた万葉恋歌を、歌と語り、マリリン・パティ・アノで綴る。

■第94回あじき音楽祭
水澤節子リサイタルリサイタル 10月30日（土）18時30分 神戸文化ホール・中ホール 2800円 全席自由

★「不必要な実験はやめて」動物実験を考える会
'91年10月に、全国的な組織であるJAV A（動物実験の廃止を求める会）の兵庫県内の会員が中心となって発足。動物実験の実情を訴える写真展の開催、自治体から研究機関への実験動物の払い下げ中止を求める



水澤 節子さん

運動、マイドックトレーニングスクール（愛犬にとってよい飼い主になる為の学校）の開講などの活動を続けている。



駒井 規子さん

「医学のために動物実験は必要だと思っている人に実体を知ってもらいたいと思います。化粧品の実験や、既にデータが明らかなのに単位を取るためにだけに学生が実験に使ったりしてるんです。私たちが知らんふりしてたら、1秒に3匹の割合で罪のない動物が殺されていくんです。どういう実験が行なわれているのかもっと公開してほしいと思います」と駒井さん。

世界的には、様々な規制がある「動物実験」であるが、日本は野放し状態であるという。今後我々が真剣に取り組まねばならない重いテーマである。



故・山口 光昭さん

神戸YMCA理事等、オリンピック・幼稚園園長等を務めていた。米国ロックフォード大学名誉博士、中国広州外国語学院顧問教授、インドネシアアプンハッタ大学名誉教授。

10月8日午後2時30分より神戸女学院講堂にて、追悼記念式が執り行われる。式委員長は小玉佐智子神戸女学院大学学長。

★KOBEOフェイスレディ★



北野 尚子さん (25)

〈株式会社ワールド広報宣伝部勤務〉

ワールドの広報宣伝部で活躍の北野さん。小誌10月号では新しくオープンしたショップ「オゾック」の撮影に立ち合っていました。入社4年目、社外広報担当で、マスコミに対応。「社内、社外を問わず、いろんな人に会えるのが楽しいですね」と北野さん。今年の夏にはイタリアへ旅行、イタリアに魅せられて、最近イタリア語を習い始めたとのこと。気さくで、笑顔のとても素敵な女性です。

■連絡先
神戸市北区有野台1-3-57-202
078-982-2001 宮本方

★前神戸女学院大学学長

山口光朝さん逝去

人権・平和運動家として幅広い活躍で知られる前神戸女学院大学学長の山口光朝さんが、8月20日夕刻、腎臓がんのため、神戸市立中央市民病院で死去。66歳。22日、神戸市中央区下山手

国際高等研に茶室贈られる

米花

稔 神戸大学名誉教授・福山大学教授▽

久しぶりに天候に恵まれた晩夏

八月三〇日、関西文化学術研究都市の中核として、奈良に近い京都府南部の木津川台(相楽郡木津町)の完成間近かの財団法人国際高等研究所に、裏千家千完室家元より茶室を寄贈せられ、宗室、登三子御夫妻出席のもと五〇余名参加で竣工による贈呈式と披露が行なわれた。

理事長奥田東氏に宗室氏から目録贈呈と共に、「お茶室が、研究に没頭される皆様方のやすらぎの場となり、また日本文化の一端に触れ、そして人類の未来と幸福の為の研究の思索の場としてお役に立てれば」との家元の挨拶があった。続いて茶室前で家元御夫妻、奥田理事長、岡本道雄研究所長らによって、雅松庵という額の除幕式が行なわれた。学者村を意図して和風にみえる二階建の地味な建物のつらなる中庭に、渋さと華をそえる趣きある茶室である。なお研究所の竣工披露はすこしおくれで一〇月一日、本号発行時には開かれ、その際「東の心、西の心」をテーマの東西の著名学者による

記念講演が、研究所の理念の一部を示していると思う。

この研究所は組織としては既に昭和五九年八月設立で京都に仮事務所をおき、研究所の企画運営、研究会シンポジウムなどソフトを先行、九年でハードを実現した。

関西文化学術研究都市は、二一世紀を展望した文化学術研究機能の新たな展開の拠点として、京阪奈丘陵に産・学・官の協力で建設を進めており、そのきっかけは昭和五〇年代はじめ元京大総長奥田東氏の発想に由来する。詳細の余裕はないが、

奥田さんのそもその動機は、オイルショックの前後ローマクラブの「成長の限界」の報告からで、まさしく人類未来の危機感からであった。さればこそ自然科学にとどまらず、人文社会科学、哲学宗教をふくめての研究をめざし、世界のすぐれた研究者を招く国際高等研究所の設立となったのである。その心の文化の象

一足先に完成、披露された「雅松庵」



微としての茶室である。

茶室での順次の洋服で、小生の参加した折の一〇数名、すべてお茶の心得があるとは限らない筈が、いずれも懐紙を用意して前におきお菓子をいただく様はさすがであった。小生も身内に手ほどきの俄仕込ではあった。ひとしきりの静寂が心をひきしめた。

東のつくば研究学園都市とはひと味ちがうこの関西文化学術研究都市を中核に、同じく進行中の播磨科学公園都市などをふくむ近畿リサーチ・コンプレックスとして今後大いに国際貢献のすすめられることを期待したい。

ちなみに本号の表紙は、故小磯良平画伯えがく裏千家家元登三子夫人の肖像である。



「ワキガ」「多汗症」は 簡単に治せる!

あなたの耳アカは、乾いていま
すか?

◆耳アカの湿っている人の90%
がワキガといわれています◆

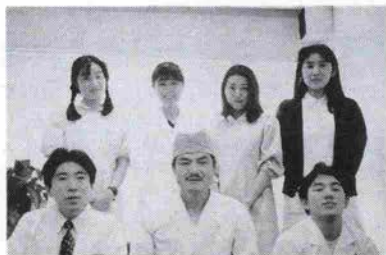
最近、メスを使わないワキガ
の治療をする病院が増えていま
すが、例えるなら真っ暗な部屋
を手探りで掃除機をかけるよう
なものです。この方法は取り残
しの可能性があるため再発する
方が多いのが事実です。

当院で行なっている「皮下組



ワキガの4大原因は
*アポクリン腺 *アカ
*エクリン腺 *皮脂腺
です。

■日本美容外科学会正会員 ■日本医師会
A会員 ■大阪府医師会正会員 ■北区医師
会正会員 ■昭和大学麻酔科研究員



小国クリニック院長
小国英昭

「繊維剥離法」なら直接目で見て汗
腺をひとつひとつ取り除きます
ので、再発の心配がありません。
止血も十分に行なうことが
できるので、腫れを最小限にお
さえられます。

小国クリニックは、一生に一
度の手術で確実に治すことを目
的としています。

美容外科・泌尿器科・形成外科

医療法人 **小国クリニック**

■大阪本院
大阪市北区堂山町17-15
若原ビル4F 〒530
☎06-365-0123

J R大阪駅、阪急梅田駅より徒歩5分。
ナビオ阪急、東へ徒歩2分。

■姫路カウンセリングルーム
姫路市南駅前町91 森田ビル2F
☎0792-84-4060 〒670

J R姫路駅南出口喫茶すみれ2F
※当相談室では、診察などの医療行為は一
切行っておりません。

◆直接院長迄お手紙を下されば、貴女の御相談にお答
えします。(プライバシー厳守のため個人名で後日返
送) ◆相談は一切無料です。◆ご来院の場合は事前に
電話予約をお願いします。

診 療 科 目

- 目……………二重まぶた(埋没法・切開法)/目尻/目頭切開
- 鼻……………隆鼻/低鼻/小鼻縮小/鼻尖形成
- 顔の輪郭……………エラ削り/あご/こめかみ/額
- 脂肪吸引……………顔全体から足首にいたるまで(二重あごなど)
- 胸……………豊胸/乳房縮小/陥没乳頭/乳頭縮小/バストアップ
- シワ取り……………顔全体/首/腹/その他
- その他……………ピアス/傷跡/TATTOO/ホクロ/婦人科/泌尿器科/ワキ
ガ(ワキガ医学研究所併設)



●特集——1

■座談会

’96年に向って六甲アイランドに
神戸ファッションセンター完成

神戸ファッションミュージアムを創る

藤本 晴美
内田 繁
三橋 いく代
三好 栄三

照明デザイナー・プロデューサー
インテリアデザイナー
インテリアデザイナー
ファッションセンター
建設準備室学芸主任

司会 平成8年の春、六甲アイランドに「ファッション都市神戸」を宣言した神戸のシンボルとも言える「神戸ファッションセンター」が開館され、平成5年度はその建設着工のときです。その主な施設の中で神戸ファッションミュージアムはその中枢をなす文化的なゾーンとして私たち神戸市民が注目するところですが、本日はその建設に携わっていらっしゃる皆様にミュージアムの新しいコンセプトとイメージ、また空間構成などについてお話いただきたいと思っています。

★素晴らしいチームワークで世界初のミュージアムを

三好 とにかくこのファッションミュージアムは、世界中のどこにもない新しいものを目指していますので、美術館のようにただ単にいいものがあるだけでなく、空間、

インテリア、照明、映像の全てをトータルに構成して、新しい素敵なものを創ろうと思ひ、従来の美術館や博物館のコンセプトをそのまま持ってきたのではおもしろくないので、誰かに助けてもらいたいと思ひ、今回プロデューサーを務めて下さっている藤本さんのところへ大挙押しかけました。そこから凄じいスピードで、設計チーム、学芸員、事務職が三位一体となつていいチームワークを築くことができ、今日に至つています。

藤本 私はいつも、人間関係がものを創るとはどういうことかという点で仕事をしています。今回の件に関しては、準備室のメンバー全員が、いいもののは何か、新しいものは何か、すばらしいものは何か、美しいものは何かについて同じ熱意を持っていて、どうしてもそういうものを創りたいという熱意に押し倒されたんです。そして

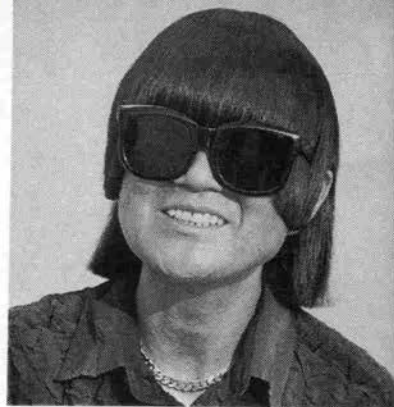


素晴らしいチームワークのファッションセンター建設準備室の皆さん

その引き受ける条件として、準備室全員が関って、参加して一緒に創ること、空間デザインは内田繁さん以外考えられないということで、今度は内田さんのところへ押しかけ、内田さんも快諾し、更にこのミュージアムとして重要なポイントの展示デザイナーに三橋いく代さんが参加するという具合に「この人じゃないとできない」という直感がそれぞれにあって、そして今回ベスト・メンバーで思い通りのチームワークで仕事をするようになりました。

内田 この計画は始めてまだ一年ちょっとなんですけどもう3年位になる気がするんです。それだけ関わっていたというか、集中して充実してたんでしょうね。今回の件に関しては、プロデュースというのがいかに重要かということがよくわかりました。ほんとうに事務方も含めてクリエイティブに関ってくれて、全員が「創っている」という実感があるんですね。僕達の仕事は、それを上手にまとめるというか、横にそれないように導いていくことでもある訳です。

三橋 今しみじみと今回のことは適材適所なんだなと感じています。俗に「お役所仕事」という言葉がありますけれど、それが死語になるくらい、いいイメージの出会いでした。短い時間の中でも、不思議なくらい各々の足並みが揃ってるんです。デザインというのは型を作ったり、色を決めたり、素材を選んだりすることだけでなく、「人がものを創るんだ」という型ができてくるんですね。担当が誰だからとか、誰がやったんだとかいうことではなく、そういうものを超越して、ほんとうに皆で関って素晴らしいミュージアムを創ろうとしているんです。藤本 最初に約束した「皆で一緒に創ろう」という条件を見事にやりとげているんです。時間があるからといっていいものができる訳ではなく、時間も予算も決まっている中で、皆で確実に各々が責任を持って、ひとつも遅れることなく素晴らしいスピードのチームワークで仕事



藤本 晴美 照明デザイナー&プロデューサー。1963~1967年、パリの美術学校、イタリアの映画学校を経て、1968年照明設計事務所MGSを設立。照明シーンを常にリードするとともに、照明、インテリア、音響、映像をトータルにプロデュース。

が進んでいます。ですから時間的には地獄ですが、おもしろくて仕方ない、早く完成させたいというのが今の気持ですね。

三好 僕は学芸員として設計チームと事務方の中間にいる立場なんで、どちらにも客観的に見る事ができるんですが、設計チームの藤本さん、内田さん、三橋さんは各々に照明デザイン、インテリアデザインの草分け的存在で、名を成した方々で、その三人が「これは藤本晴美の仕事なんだ」「内田繁の仕事なんだ」「三橋いく代の仕事なんだ」ということを全体のコンセンサスの中で、決して妥協することなく、一步一步進めてくれているというのが素晴らしいことだと思っています。一方、事務方も、設計チームや学芸員のソフトに対する考え方や空間に対する考え方を受けて、どうしたら最短距離でこのことが実現できるかということに全力で取り組んでくれるんです。皆が、誰ひとり突出することなく全体をつかんで、いい結果が生まれていると思います。

藤本 神戸は各々の個性がありながら、全体としてハーモニーの上手な街ですよ。このファッションミュージアムも、準備室の全員が、どんなデザインになるのか、どんな照明になるのかを細部まで説明できるんです。このハーモニーというかチームワークは自慢の種ですね。ですから、さぞ美しい、さぞ楽しい、さぞ皆さんが望んだ、神戸が自慢できるミュージアムになると確信しています。そして物作りの一番重要なことだと私が思っています。

内田 繁 インテリアデザイナー。1966年桑沢デザイン研究所卒業。1970年内田デザイン事務所設立。1981年朝スタジオ80設立。1987年毎日デザイン賞受賞。美術館収蔵作品として「セブテンバー」(メトロポリタン美術館・1988)家具やショップのサインからデビッドプロジェクトのプロデューサーまで、多彩に活躍中。

することはなんです、その作った時と同じ気持と愛情を持って維持していったほうがいいですね。

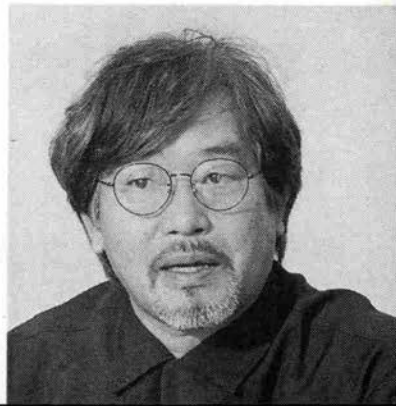
司会 ほんとうに素晴らしいチームワークで素晴らしいものができるといふことにワクワクしますけれど、具体的な内容や空間構成はどのようになるのでしょうか。

★五感で感じられる空間が出来上がります

三好 先ず、空間構成についてお話ししますと、空間創りが今回難しいと思ったのは、完全に遮断された自然光が入ってこない平べったいだけの常設展示室は、建築上、ドームを上部にのせた構成なので、柱が20数本もあり、何とかこの柱の問題を解決しなければならなかったことなんです。かといって、壁で遮へいするのではなく何か：と欲していたんですが、内田さんに作って頂いた模型を見ると、完全に壁で区切られた空間がそこにあっただけです。

内田 皆さんの要望を入れるとこんな風になりますよという模型を作ったんですが、思っていたのと違っていたらしく、皆さんその模型を見て驚いていたようです。「かまわないから壊して下さい」と言っただけです。

三好 内田さんの仕事の中で、かってこんな無礼なことがあったらどうかと思うくらい無礼にも、作って頂いた模型の壁をベリベリとはずしてしまっただけです。まるで料理でもするかのようにな。そうしたら不細工なものになってしまっただけ、その結果、元の空間がいかに美しいもの





三橋 いく代 インテリアデザイナー。
1966年多摩美術大学卒業。1970年内田デ
ザイン事務所設立参加。1977年三橋いく
代アトリエ主宰。1984年雑誌スタジオ80へ
移籍。インテリアデザインのみならず舞
台美術、住宅、プロダクトデザインなど
を手がける。

のであったかに気づいたんです。それで、壁で完全に仕
切るのではなく、空間の広がりを残しつつ、柱を隠しつ
つ、いろんな展示を区切るという最高の空間プランを新
たに内田さんに創って頂いたんです。そして、実際に藤
本さんに照明を当てて頂いて見ると、柱があるにもか
わらず柱が目立たず、壁があるにもかかわらず空間の遮
へい感のない空間ができたんです。

内田 ここ数年に出来た美術館は、博覧会の延長のよう
なものが多かったんです。つまり、物を展示できればい
い、知識を入れられればいいといったものですね。です
から五感に訴えかけるような感覚的な空間構成というも
のがなされていなかったんです。これは博覧会以降の悪
い現象なんです。これを絶対に作ってはいけないとい
うのが皆で一致した意見だった訳です。美術館である
以上、そういう要素が必要なんです、そこにいるだけ
で穏やかになれるというか、落ち着いた気分になれる空
間を創りたいというのがスタートでしたから、そのため
には先ず柱の問題を解決しないといけないかったです。
それには二通りの考え方がありまして、第一に柱を上手
に隠してしまう方法、そして第二に柱をもっと増やして
柱に見せないで回廊のように美しく見せる方法ですね。
この点について事務方も含めて全員で意見を出し合っ
て全員が納得して空間構成を完成させたんです。

藤本 内容については、昨日も皆で「見に来た人に何を
見せたいのか」逆に自分自身が客として来た時に、「何

三好 栄三 神戸市経済局ファッション
センター建設準備室学芸主任。1985年関
西学院大学文学部博士過程終了。以後、
関西学院大学講師等を経て、1992年 KF
C建設準備室へ。KFC のミュージアム
のソフトからミュージアムのコンセプト
作りをすすめている元美学者。



を見たのか」ということについて話し合いをしたので
すが、訪れた人が「いいなあ。何かとつてもきれいな
あ」と感じてもらえたことが記憶に残るような、そして
口コミでもその美しさ、良さが大きく広がっていくよう
な、そんな風に完成させたいなと思っています。ファッ
ション都市神戸が世界に先駆けて常設のファッションミ
ュージアムを作った意味をそこで感じてもらえる様
な。

内田 美術館の持っている役割というのは、市民の広場
的なもの、知識を増大させるもの、ワクワクするような
アミューズメント性、そして空間そのもののたのしみ
と幾つかあるんですが、今回はそれの一つずつ忠実にや
っていかうと思ってるんです。特に僕の仕事は空間を仕
切る仕事ですから、これを間違えたくさんの要素がバ
ラバラになって散漫になりますので気をつけています。
そして、このファッションミュージアムの天井は5メー
トルなんです、柱や壁を上手に利用して、高く感じる
5メートルにしようと思っています。自然光が入ってこ
ない空間で一番失われるのは「さわやかさ」なんです。
それを補うのが高さなんです。とにかく、ファッショ
ンに興味のない人でも「あそこに行くとか何か気持ち良くな
れる」という空間を創って、その後、ファッションに関
して何かセンスとか知識を吸収してもらえるような内容
を目指しています。

そしてこれは初めての試みだと思えますけれど、ゆっ
くりとファッションミュージアムを見て、感じて、楽し

んで頂ける要素のプラスに素敵な椅子を用意することになったんです。しかも、それは普通の椅子ではなくて、今世紀あるいは前世紀の世界の名作コレクションを100点ばかり集めて、館内にディスプレイ、実際に座ってもらうんです。デンマーク大使館からも何点か名作を寄附してもらえることが決まりました。そういった椅子を見るだけではなく、座れるというのもファッションの一つですからね。

藤本 それと、訪れた人が気軽に館内で記念写真を撮れるようにしようという提案もしています。日本の美術館ではほとんど撮影禁止ですが、ストロボさえ使わなければ、どんな撮ってほしいですね。自分の好きな椅子に座って記念写真が撮れるなんていうのもお洒落でしょう。

内田 とにかく今回は、見て触て…という風に五感で感じてもらえるのにしたいんです。

三好 それで、展示の方も徹底してオープン展示にしたいんです。大事な古いものとか貴重なものとかは、普通カバをかけるんですけど、ガラスの中に入れてなくても大切にしないという訳ではなくて、オープンにして、訪れた方々でできるだけ多くの接点を持たせたいんですね。もちろん科学的な実証に基いてですが…。

藤本 その多くの接点を演出する上で、展示デザインに關しては、数々の切り口でファッションブティックを手掛けて、展示デザインに密着されている三橋さんにお願したんですが、とても素晴らしいですよ。

三橋 先ず、素敵なエントランススペースを抜けて、ファッション写真を展示するお洒落な空間ファッションスクエアから続く最初の部屋が20世紀つまり現代のファッションを展示します。現代から過去へ逆のぼっていくように、次の部屋が19～18世紀のファッション、そして民族衣装へと移っていきます。20世紀及び19～18世紀のファッションは全て西洋のもので、民族衣装のところ少し東洋のものが入ってくるんですが、その西洋のものと

東洋のものの接点を、これもなかなか興味深いんですが、衣装ではなく、布という切り口で見せています。

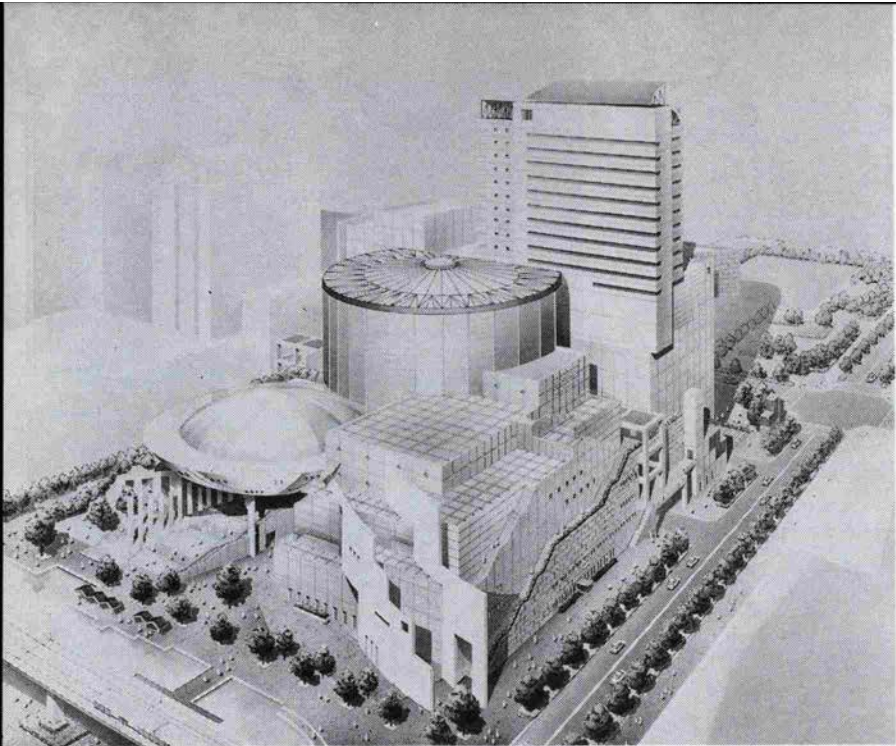
そして、ただ単に部屋から部屋へ年代を追って展示する博物館のようではなく、大きく5つのブースがあるんですが、次の部屋がちらちら見えていて、それぞれ違うものを展示する空間同士の関係とか、その空間と展示してある衣装の関係とかを大事にし、この衣装は、誰が、どの時代に、どんな風に、どんな気分を着たのかまで表現できるようにしたいと思っています。

三好 衣装の方もかなりの成績で集まってきました。例えば、ロココの舞路会の衣装とか、ナポレオンの戴冠式の衣装とか…。

三橋 もちろんナポレオンが実際に着たものではないんですが、ナポレオンが当時服を作らせていた工房がまだフランスに残っていて、そこで当時と同じ手法で、同じ素材を使って再現したもので、もう何百年か経つと本物になってしまふものなんです。私達は過去のものをかすんだ色で見てるんですけど、そういうものが出来た当時、どんなに色鮮やかで美しかったかを知ることができるんです。そういうものが今回神戸の財産としてコレクションに入れば、素晴らしいし、とても興味深いことになると思います。

三好 それと嬉しい報告がありまして、偶然なんですが、ナポレオン時代のドレスを一点購入していたんですが、それが、ナポレオンの戴冠式の時の列席者の一人が実際に着用されたものらしいんです（未確認）。

藤本 現代の偉大な世紀のコレクションにしても、100年のファッションの歴史が収集されていますが、ファッションミュージアム自身がその歴史を背追って次の時代へ残していくんですね。そして19世紀初頭の古い部類に属するものがナポレオンの時代のものなど、その考えているコレクションの仕方が、とても現代的で、歴史の博物館を創ろうとしたんじゃないという発想がはつきりして



ファッションミュージアム完成予想図（六甲アイランド）

いるんです。そういうも現を一番美しい見せ方で、どう
いう風に完成し、維持していくかが、神戸の財産として
生きると思うんです。

三好 これまで知識というのは、書物の中にとじ込めら
れた言葉中心のものであったんですが、このファッション
ミュージアムは、見て分かる、触れて分かる、感じて分
かるという非常にレベルの高いものになるという確信を
持っています。

内田 つまらないものというのは、出来た時が一番いい
んですよ。でも、いいものは、だんだん良くなってい
くんです。30年50年と年を重ねるほど風格がでて、どん

ん好きになっていくんです。

藤本 出来た時がそのまま生き続けるんですね。です
から、先程も言ったように、このファッションミュージア
ムは、さぞ美しい、さぞ楽しい、さぞ皆さんが望んだ、
神戸が自慢できるものになると信じています。

司会 最後に21世紀の神戸ファッション都市づくりへの
アイデアなどがありましたら、お伺いしたいんですが。

★繰り返し、蓄積し、本物のブームにしてほしい

三好 神戸はファッション関係のいいイベントをたくさ
ん積み重ねてきて、ファッション都市神戸をイメージア
ップして、産業支援にもつながってきた訳で
すが、その行なったイベントを文化的に蓄積
していけるところが十分でなかったと思うん
です。それをこのファッションミュージアム
で蓄積し、継続し、発展させ、そこから様々
な能力や才能を育てていければと思います。

先程内田さんがおっしゃったように、どん
ん年を重ねて良くなっていければと…。

内田 僕は都市というのは各々役割を持つて
いると思うんです。これからは地方分権の時
代ですし、何を基盤においた都市なのかを考
えないといけないと思います。それには常に
繰り返し蓄積していくことが大事で、神戸は
その可能性がある都市ですから、年間を通じ
てカレンダーが埋まるくらいファッションイ
ベントを積み重ねてほしいと思います。

三橋 日本人の特徴として、すぐにブームに
はするんですが、今度こそほんとうに流行ら
せたいんです。本気で流行らせようと思えば
必ず根ざしていきますから、繰り返し、蓄
積していったほうがいいと思います。

司会 素晴らしいファッションミュージアム
の完成を期待しています。



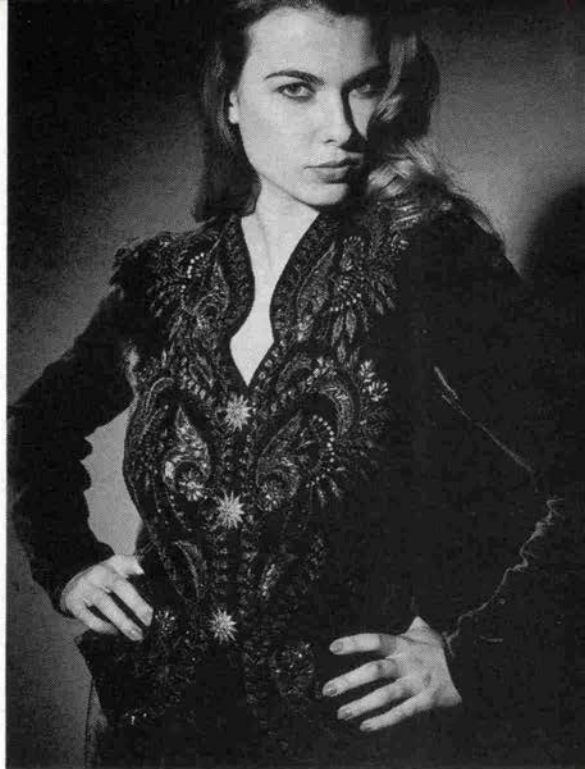
Pierre Cardin
Rain Coat/c. 1968
© Takayuki Yasufuku

ミュージアム

■常設展/時代を彩ってきたファッションと空間が一体となって創り上げる、美しく、そして運動する常設展。

20世紀のコスチューム・18〜19世紀のコスチューム・民族衣装・テキスタイル・写真と世界の椅子で構成する中央のスクエア空間・シミュレーションゲームプレイス・ハイビジョンシアターの七つのパワースタイルから構成されたコスチューム・映像・空間が一体となった場。

■企画展/ファッションから写真・映画・オブジェ・タブロー・インスタレーション・パフォーマンス。時空間



Elsa Schiaparelli Dinner Suit/c. 1937
© Takayuki Yasufuku

これが ファッション ミュージアムだ

への広がりを目的にアクティブな企画を開催。

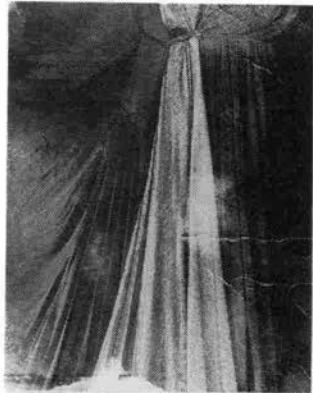
イベントホール

ファッションショー・音楽・映画・演劇・パフォーマンスなど時代の先端文化に触れるフレキシブルな劇場。
デザインラボ

ファッションに関するさまざまな情報から創造空間へ。
ミュージアム常設展示内容

●ファッションの偉大な世紀/20世紀のデザイナーのコスチュームとスライドによる環境映像が織りなす空間。
●西洋ファッションの世界/絵画がモデルとなって構成

Grès
Evening Dress/c. 1945~46
© Yasuko Kotani





Gabrielle Chanel Evening Dress / c. 1927
© Takayuki Yasufuku

される18〜19世紀のコスチュームゲームとクラシック・モダン空間。●ファッションの交流／世界のテキスタイルと日本の衣装が繰り広げるテキスタイルゾーン。●民族衣装／世界の民族衣装によって構成される華やかな儀礼シーン。●ファッション・スクエア／世界の椅子とファッショ写真のある安らぎの静的空間から、マルチスライド映像を使った、現代を表現する動的空間へと変貌する時空間。●アミューズメント・ハウス／色彩・光と影によって演出されたシミュレーション・ゲーム空間。●ハイビジョン・シアター／動画を中心にイメージ展開



Pierre Cardin
Day Dress / c. 1966
©Takayuki Yasufuku

Gabrielle Chanel
Evening Dress / c. 1927
©Yasuko Kotani



■所在地

神戸市東灘区向洋町中2丁目

■構造

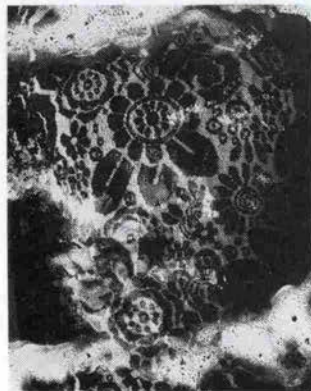
S造一部SRC造（地上7階）

■運営主体

第3セクター

■主な施設

ミュージアム、ライブラリー
イベントホール（400席）
デザインラボ、レストラン
ミュージアムショップ



神戸ファッションストリート ——神戸のメーカーとここで出会える

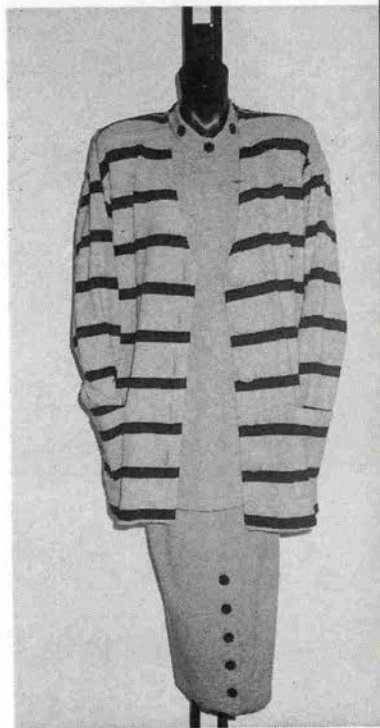
ファッションの秋を迎えました。神戸の街には数多くのファッションメーカーがありますが、今回は各社にアンケートと形で、この秋のトレンドを聞いてみました。

——質問事項——

1. この秋冬はどんなファッションが主流だと思いますか。2. 貴社のこの秋冬のテーマ。3. 貴社の最近の売れ筋。(素材、形、色など) 4. 貴社の代表ブランド。(三つまで) 神戸市内でそのブランドが手に入る専門店名。5. 4のブランドの服を着てみたい著名人(女優など)の名前。



- ★ポトフ ① 組み合わせ自由な着やすいもので、カジュアルティストを入れながらも、女らしさを忘れてないもの。
- ② comfortable (心地良さ)
- ③ ・カシミヤJK
- ・ニット類全般
- ※色はグレー系、ベージュ系、黒。
- ④ ・POTOFU
- ・Free



・Teana

※ウエアリブ、ナタリーモダ、アンティークウオーリアス、プッペ、コム・デモンなど。

★ビッティ・ジアバン

① その女性が、より積極的に女性であることを表現するファッション。(決して前衛的な表現ではない) 日本の古典的な女性像が見直される中、雅子紀殿下に代表される、清楚で育ちの良い服。

② チャーミング&ロマンティック。フリルやレース使いなど、ロマンティックを表現しています。

③ 秋の立上り用薄手ウールジョーゼット。(イタリアの素材)

形・チャイナドレス風ワンピース。衿フリル使いジャケット。

色・ナチュラルベージュカラーに加えて、立上りよりイエロー、赤が順調。

④ Vittorio Gallette (ヴィットリオ ガレット)
Vittorio Gallet

▶モードリンダ



te本部SHOP (異人館倶楽部
Part II 2F)

⑤ 雅子紀殿下

★モードリンダ

①生活シーンの多様化等から単品指向は一層高まっている。全般的なカジュアル化傾向による単品を柱に、幅広く着回しできるコーディネートの変化が求められている。

また、エレガンス系では「プリコン」から、シンプルで大人のテイストのするセットアップが主流になる。

②・Autumn Harvest
・My Favorite Things

・森の新しい温もり

③「白衿タキシードカラー、リボンブローチ付、タイトスカートとのセットアップ。中肉のポリエステル100%。クロ、コン、ベージュ」
「シャツカラー、衿部分に葉っぱのアップリケ。ジーナデシンドー
クレイ、ポリエステル100%、茶が

中心」「前身頃に金具使いのブラウススーツ、バックサテンGC、ポリエステル100%」等

④・LEMONA―神戸紅屋、ウインクル、鈴屋ロブハウス

・YUKIEY―マサヤ、装苑

・Peture―ウインクル、

マサヤ、鈴屋ロブハウス

⑤安田成美、鈴木京香、鈴木杏樹

★モードオリオン

①ニットを中心としたカジュアルウェアの重ね着が主流で、着やすくリラックしたナチュラルなスタイルング。

②ノスタルジック ホワイト

③5ゲージアゼ編みジップアップ

ニットジャケット

・カラー、ベージュ、キャメル

④・ADAM AND EVE

ハバランドオーガスタプラザ

5FにSHOP展開

⑤高橋リナ

★モードワールド



▶モードオリオン

①着回し、着こなしができるファッション。シルエットではロングが増加。

②TRADITIONAL&EC
OLOGY

③・ベスト―ウール100%、紺系、

グリーン系

・ロングスカート、パンツ―テ
ンセル。ブルー系。

・カーディガン―レーヨン、ウ
ール混。紺系、グリーン系。

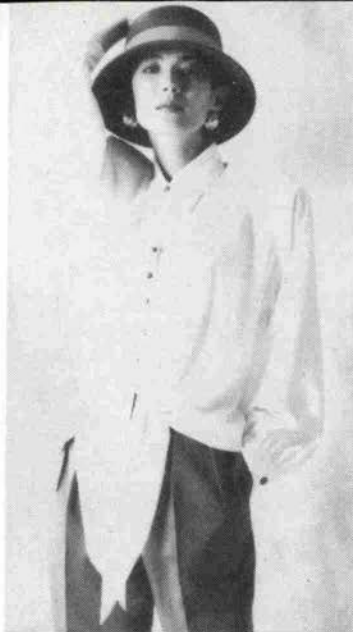
④・コルディア―マミー (神戸市
中央区三宮町1さんちかタウン
内)

・ルイシャント―レールフレ
(三宮センター街)

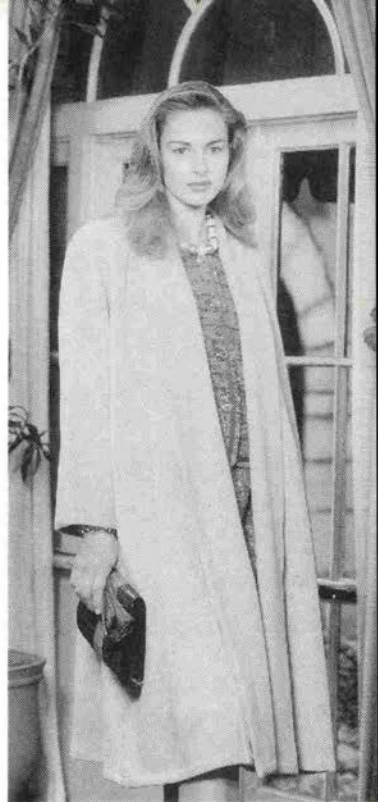
・リニア―マミー

⑤・コルディア―三田佳子

・ルイシャント―田中美佐子



▲マドンナ ▼オールスタイル



▲ワールド

・リニアートになし。

※尚2、3の質問につきましては、当社のレディースブランド『ルイシャントン』について書かせていただきました。

★マドンナグループ

①ベストなど単品アイテムと組み合わせができる着こなし、タートルネックにビッグシャツといった少しカジュアルな着こなしなど、いろいろなコーディネートができるファッション。

②少しカジュアルラインな物と、エレガントタイプの2本柱。全体的にはエレガントな女性をイメージ。

ジ。

③素材はピーチタイプのウオーミングのあるタイプ。デザインは衿変化物や、エンボス加工を施した物など、全体的にはシンプルなものが良い。

④・マドンナ

・アタージョ

・エイドール

紅屋、ニュー京屋etc.:

⑤・マドンナ・佐藤友美

・アダージョー山口智子

・エイドールー八千草薫

★オールスタイル

①質感のある素材を生かした、ゆ

ったりとした新しいシルエットのブルオーヴァーやカーディガン、ジャケットなどの単品ニットアイテムが再登場！

②TOUCH OF QUALITY. オンタイムのカジュアル化が進むなか、単品ニットアイテムがクローズアップされています。質感のある素材を生かし、ゆったりとしたニューシルエットを提案します。

③・ロングベスト

・ワンピース

・ロングブルオーヴァー

※黒、グレー、ベージュ系など

④・エルジエヌーセリザワ、元町トラヤ

・レオワルツー神戸そごう

・トウト・ラ・テールー神戸そごう、神戸大丸

⑤特になし。

★紳士

①カジュアルを中心に、レーヨン混の新素材などを用い、ベストや

ロングタイトのボトムなどのディ
テールで、エコロジを意識した
フアッション。

②自然をテーマに、ナチュラル感
のある定番的なシルエットを提案
しました。

③シルシン片サイド(レーヨン混
の素材)

・衿やカフスにオーガンをあし
らったようなシンプルな形

・木調のアース系のカラー

4.メルアン・ブランタン、西武

5.浅野ゆう子、賀来千香子

★柄ケティ

①ナチュラルをベースとしたカジ
ュアルティストのもの。アウトド
ア、リサイクル、古着等リッチで
なくとも、格好良くななくても個人
の価値判断で選んだものがおしや
れに通じる。また、パッチワーク
やリサイクル等、人の手を感じる
ものや、カジュアルとしては新鮮
なワンピースドレスが注目。

②「田舎の楽しい生活と都会の贅

▲パール



沢な夢」をコンセプトに、綿、ウ

ールを中心とした暖みのある重ね
着と、合繊プリントとファレミー
ツイードとの華やかな重ね着がポ
イント。

③重装では黒を中心にワンピース
ドレス、ボレロとワンピースとの
組み合わせ、レース、ブレード使
いのスーツ。単品ではネームをた
いたカジュアル・ジャンパース
カートのナチュラル色中心に、エ
レガンスのジャンパースカートの
黒中心に、後ろししゅうのブルゾ
ンは黒、赤、ピンク。ブラウス、
スカートではピンク、赤、黒の花
柄プリントでの加工入りや、2柄
以上をはぎ合わせたもの。

④・ケティ・コール(三宮センタ
ー街)

・ガルドコール、パオデローキ
ゅーと(阪急岡本コープ内)

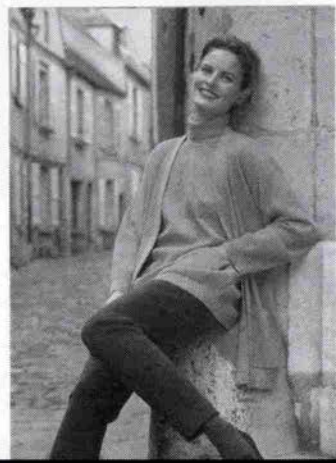
⑤特になし。

★柄ジェルベ

①ナチュラルにもスポーティーに



▲ケティ



▶ジェルベ

も、エレガンスにも使えるアウト
ー物が多く出てきそうです。素材
も多種多様で、布帛・ニット・カ
ット&ソー等色々です。インナ
ー物で自分らしさを出してアウト
ー物で引き締める、といった具合の
スタイルが見られると思います。

② 単品の着まわしー自分自身の
コーディネート

・Link

③ テンセル素材のアイテム

・Longタイプの単品orア
ンサンブルにストレッチ素材の
スパッツ

④ SAINT GERVÉ (サ

ンジェルベ)ー三宮センタ
ー街「SAINT GERVÉ」

・CROSS POINT (ク
ロスポイント)ーハーバーラ
ンドオーガスタ内「オリベッ

⑤ S・Gー三田佳子

・C・Pー特になし。

△順不同△

第5回神戸ファッションフェスティバル

ジバンシイ

GIVENCHY 衣裳文化展

●特集—3

◇日時 11月24日(水)11時～19時
◇会場 神戸ファッションマート 9F
KFMホール(六甲アイランド内)
◇入場料 1200円(前売り1000円)
◇主催 (財)神戸ファッション協会
兵庫県神戸市 神戸商工会議所
◇協力 ジャパンマーケットセンター神戸



▲セーヌ川の岸辺を歩くジバンシイと
オードリ・ヘップバーン
(1989年頃の撮影)
▲ユベール・ド・ジバンシイ氏

弱冠24歳にしてメゾンを構えた
第3回のジャンニ・ヴェルサー
チ衣裳文化展、第4回の衣裳文化
展に引き続き、今回はGIVENCHY
(ジバンシイ) 衣裳文化展
が開催される。

テーマは「魅せる」。人々を魅了す
るヒロインとして脚光を浴びた大
女優、オードリ・ヘップバーンの
才能や努力を支え、彼女自身とと
もに観客をひきつけたものはまさ
に衣裳(ファッション)であった。

▶ジバンシイがデビューを飾った初夏コレクションで発表した
ブラウス「ベッティナ」のイラスト



「モードの神童」、ユベール・ド・
ジバンシイ。「麗しのサブリナ」以
来、「パリの恋人」、「シャレード」
など次々とスクリーンに登場した
オードリ・ヘップバーンの華麗な
ファッションは世界中の女性を心
酔させてきた。40年間、パリ・モ
ード界のスターとして燦然と輝き
続ける彼の原点は、あくまでも、
「クラシック」。時代に左右される
ことのない「真のモード」を追求
するジバンシイは、66歳にして、
いまなお、あくなきモードへの挑
戦を続ける天才クチュリエとして
多くの人々に愛されている。

今回はその輝かしい足跡を物語
る作品の数々を一堂に集め、魅せ
る」ということの原点を体感する
貴重な機会としてファッションの
一大拠点、神戸ファッションマー
トで広く一般に公開する。

第5回神戸ファッションフェスティバル



神戸 クリエイション'93

●特集——4

- ◇会期 11月25日(木)・12月26日(日)
- ◇会場 神戸ファッションマート1F
アトリウム(六甲アイランド内)
- ◇入場料 3000円
- ◇主催 (財)神戸ファッション協会
- ◇後援 兵庫県 神戸市 神戸商工会議所
近畿通商産業局
- ◇協力 ジャパンマーケットセンター㈱
- ◇協賛 GIVENCHY S.A.
GIVENCHY JAPON
CO., LTD.

今年も「神戸クリエイション'93」が開かれる。未来を担う若手ファッションデザイナーの発掘と育成を目的に第1回(1989年)から継続。今年の全体テーマである「魅せる」に基づき、神戸のアパレル企業で活躍中のデザイナーたちが、それぞれの個性をいかした華やかな競演がくりひろげられる。

●参加デザイナーのプロフィール

甲斐絹代 1956年10月、宮崎県延岡市生まれ。1977年3月、神戸ドレスメーカー学院(現、神戸ファッション専門学校)卒業。1977年、㈱ワールド入社。現在、同社ブランド「コルディア」のチーフデザイナーとして活躍中。青屋市在中。

志水邦男 1961年11月、兵庫県神戸市生まれ。1985年3月、文化服装学院卒業。同年4月から8年間、パリ(ビエル・カルダン・パリ社、ハナエ・モリ・パリ社など)で活動。1993年8月、イズムグループ(㈱アルスのブランド「ラ・ヴォワ・デ・グロブ」)のチーフデザイナーとして入社。神戸市在住。

谷郷直美 1967年5月、滋賀県大津市生まれ。1990年3月、大阪モード学園卒業。1990年4月、㈱ヴァレン入社。現在、同社ブランド「フォルプリング」のデザイナーとして活躍中。神戸市在住。

中村美幸 1961年8月、兵庫県神戸市生まれ。1983年3月、神戸ドレスメーカー学院(現、神戸ファッション専門学校)卒業。1983年3月、ジャヴァグループ(㈱ケティ)入社。現在、同社ブランド「ケティ」のチーフデザイナーとして活躍中。神戸市在中。

▲甲斐絹代さん
△㈱ワールド▽



▲志水邦男さん
△イズムグループ
㈱アルス▽



▲谷郷直美さん
△㈱ヴァレン▽



▲中村美幸さん
△ジャヴァグループ
㈱ケティ▽



情報処理能力認定試験

「文部大臣奨励賞」受賞

富永 礼さんに聞く

★全国で5人だけの受賞者

まず感想を聞かせて下さい。

富永 去年先輩が受賞していて、とても憧れていたんですが、まさか私が、というのが実感でした。

何か特別な勉強法が？

富永 学校の授業とプリントが中心、それだけで十分でした。予習するのが楽しかったんです。授業がわかりだすと、もともとずっと知りたいという気持ちになつて。

入学の時には、コンピュータのことは全然知らなくて？

富永 ええ。最初1・2週間の授業は「1」の連続でした。3・4週間目に初めて課題をクリアできた

時、やっぱり授業をまじめに受けていればわかる、これで何とかなる、と正直ホッとしました(笑)。

——ところで、「神戸電子」に入学を決めた理由という？

富永 私の高校は進学校で、みんなただ雰囲気になされて大学に行くみたいで、それが嫌だったんです。何か技術を身につけたくて。

コンピュータを勉強するには西日本一の設備だと聞きましたし、資格試験での合格率の高さも魅力でした。それにやはり神戸という街に引かれました。

——これからの目標は？

富永 卒業までに、オンライン情



富永 礼さん(情報処理科2年生)

H. 4年10月 第2種 情報処理技術者試験合格
H. 5年4月 第1種

卒業後は故郷高知での技術者生活が待っている。高知県立高知追手前高等学校出身。

情報工学科
情報処理科
情報総合学科
情報ビジネス学科

■学校法人 コンピュータ総合学園
神戸電子専門学校
神戸市中央区山本通1-6-35 ☎650-1078(242)0014(1)

報処理技術者試験に合格することです。実務知識も必要だし、かなり専門的で難しい試験ですが。

★就職も順調に内定を

富永 今年はとても厳しいと聞いていましたが、わりと順調に行きました。行く先々に先輩がいらして、高知にもこんなに卒業生がと驚きました。学校の伝統とネームバリューを実感しました。

——高知に帰ると決めたのは？

富永 こちらで暮らすと、生活費で手いっぱいですよね。クルマが欲しくて(笑)。

——将来はやはりキャリア・ウーマンとして活躍しよう。

富永 システムエンジニアには憧れますが、やっぱり……。お嫁さんがいい(笑)。